

この通信は「高津大山街道マスタープラン策定委員会」による検討の状況を地域のみなさまにお伝えするために発行しています。

## マスタープランの 方針を話し合いました

第2回の策定委員会では、マスタープランの骨格となる方針について話し合いました。

具体的な取り組みをイメージした意見も出されるなど有意義な議論となりました。



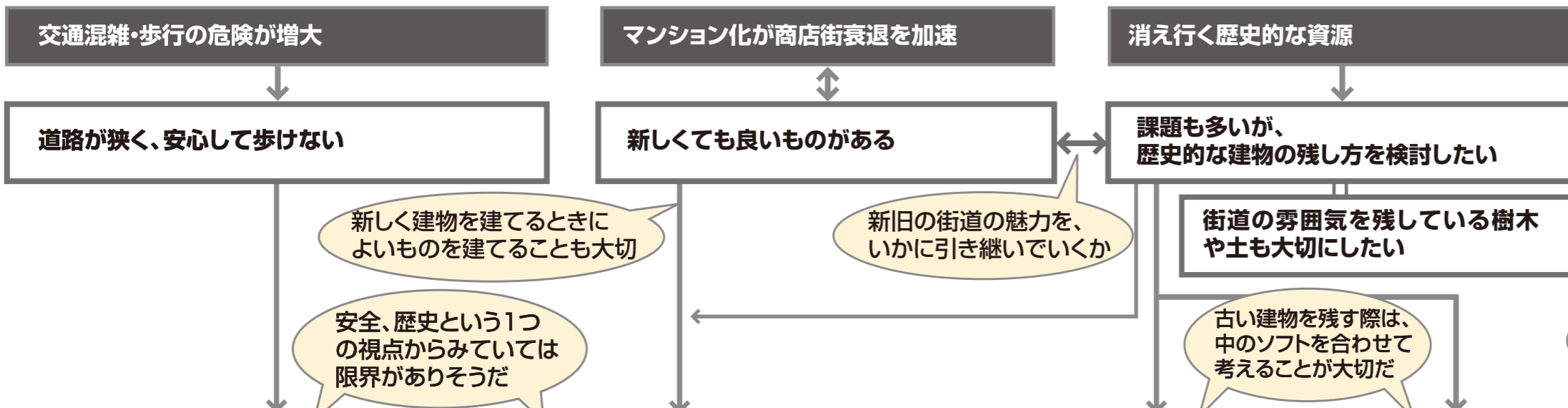
8月19日に、第2回「高津大山街道マスタープラン策定委員会」を開催しました。

🌞 こんな課題や思いを背景に話し合いました



# 委員会で出された主な意見をご紹介します

大山街道の課題や現状



## 意見1 誰もが安心・安全に歩けるようなまちづくりが必要なのではないか

景観形成基準の安全空間の基準ができたおかげで、安心して歩ける空間ができつつある。こういった取り組みが進むことを期待する



交差点の舗装を変え、車がスピードを落とす工夫などができるとうい

ゆっくり歩ける日（あるいは時間）の設定をしようか

主な意見

## 意見2 建物や街路の景観づくりが必要なのではないか

新しく建物を建てる時に良いものを建てるのが大切  
マンション化は仕方ないが、大山街道らしいつくりにしてほしい

条例を補完し、景観を誘導するおすすめ集「和のデザインコード」のようなものを検討できないか

「顕彰制度」も誘導策として有効だと思う

## 意見3 歴史的な建造物を守るための仕組みが必要なのではないか

古い建物を残そうとした場合、維持管理についての所有者の負担が問題になる



地域資源を活用して、地域のマネジメントにより人が集える場所をつくろう!

大人がくつろげるような場づくりを検討しよう

地域住民によるマネジメントが大切！行政の支援だけでは成り立たないと思う

ふるさと館を多面的に活用を検討できないだろうか

ふるさと館を活用した社会実験を行おう!

## 意見4 街道の魅力を活かす賑わいづくりを進めたらどうか

街道の魅力を高めるためのサインが充実するとよい

個性的な店づくりにより賑わいがつくられるとよい



回遊性のある街になってほしい!

周辺の資源や水との関わりを取り入れて、回遊性のある街になってほしい

携帯電話で読めるQRコードを活用して、回遊するために必要な情報を提供している事例がある

昼の街、夜の街の表情が多様になり、昔からの住民と新しい住民が交流できる場がたくさんできてほしい

## 意見5 コミュニティの新たな担い手を育てていきたい

子どもたちとふるさとを発見し、語り継がれるまちの物語が生み出されていくとよい

大山街道の原風景である自然をできる限り残し、子どもたちが遊べるようになってほしい

子どもたちに新しい感覚の大山灯籠を考えてもらうコンテストを開催してはどうだろうか

このような意見が出されました!



たくさんのアイデアが集まりました

## 区民祭の報告 2008.7.27(日)午後1時～4時半 岩崎酒店前にて

区民祭では、マスタープランの検討が始まったことを、多くの皆さんに知っていただく為、パネルの展示や策定委員会ニュースなどの配布を行いました(ニュース等配布数:約200件)。

また、参加者には、大山街道での思い出やおすすめの場所などを、カードに書いて地図に貼っていただきました。多くの大人や子どもたちの参加があり、80～90件程度のエピソードが集まりました。



策定委員会ニュースなどを配布しました



溝口緑地辺りの雰囲気が入ったとのこと



子どもたちもたくさんの意見を書いてくれました



真剣なご意見を書いていただきました

### お問い合わせ先:

高津区役所 地域振興課

電話 044-861-3133 ファックス 044-861-3103

Eメール 67tisin@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/67/67tisin/home/ooyama/>

全5回の委員会で議論された内容は、各回通信でみなさんにお伝えします。

また、当委員会は傍聴できます(定員10名)。開催日時等は、川崎市ホームページ「会議開催のお知らせ」(<http://www.city.kawasaki.jp/16/16gyozyo/home/koukai/kaigi.htm>)を御確認ください。